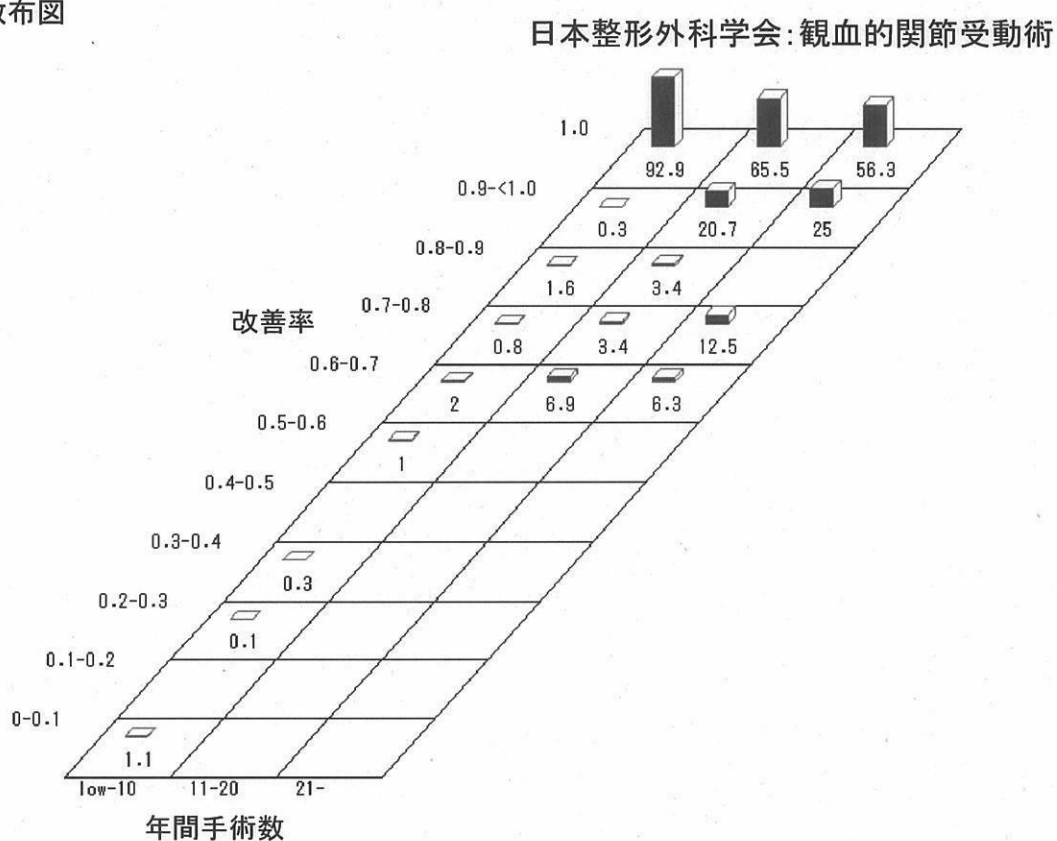


観血的関節受動術

基本統計量

- 調査施設数:1,151
有効回答施設数:1,149, 手術実施施設数:490
- 総手術件数:2,338
- 1施設あたりの手術件数
平均値:2.0, 中央値:0, 最小値・最大値:0-95
- 改善率の平均値:0.93

散布図



機能改善率の平均値の推移

	年間手術件数		
	-10	11-20	21-
施設数	446	29	15
改善率	0.92	0.94	0.92

年間手術件数増加がアウトカムに与える影響度

手術件数増加の効果				
	傾き(β_1)	95%信頼区間		P値
		下限	上限	
1カテゴリ増加	0.21%	-1.10%	1.51%	0.76

上の結果から、手術件数 10 件増加に対する機能改善率の上昇度合いは 0.21%であり、その大きさに統計学的な有意差は認められていない(95%信頼区間がゼロを含んでおり、上昇率の傾きがゼロであることを否定できない)。なお、前頁の散布図と改善率の推移から分かるように、手術件数の大小によらず、改善率の平均値は 93%前後で推移しており、良好な値といえる。

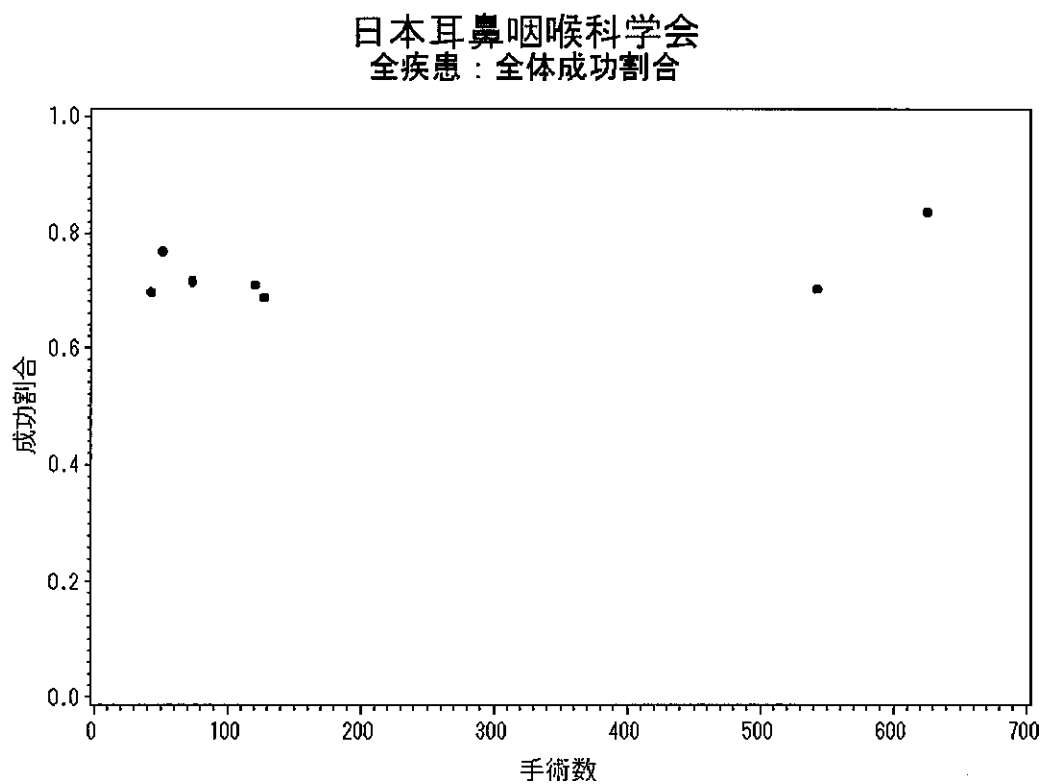
3. 日本耳鼻咽喉科学会

鼓室形成術(全疾患):全体成功率

基本統計量

- ・ 調査施設数:10
有効回答施設数:10, 手術実施施設数:7
- ・ 総手術件数:1,961
- ・ 1施設あたりの手術件数
平均値:196.1, 中央値:124.5, 最小値・最大値:43-626
- ・ 成功率の平均値:0.73

散布図



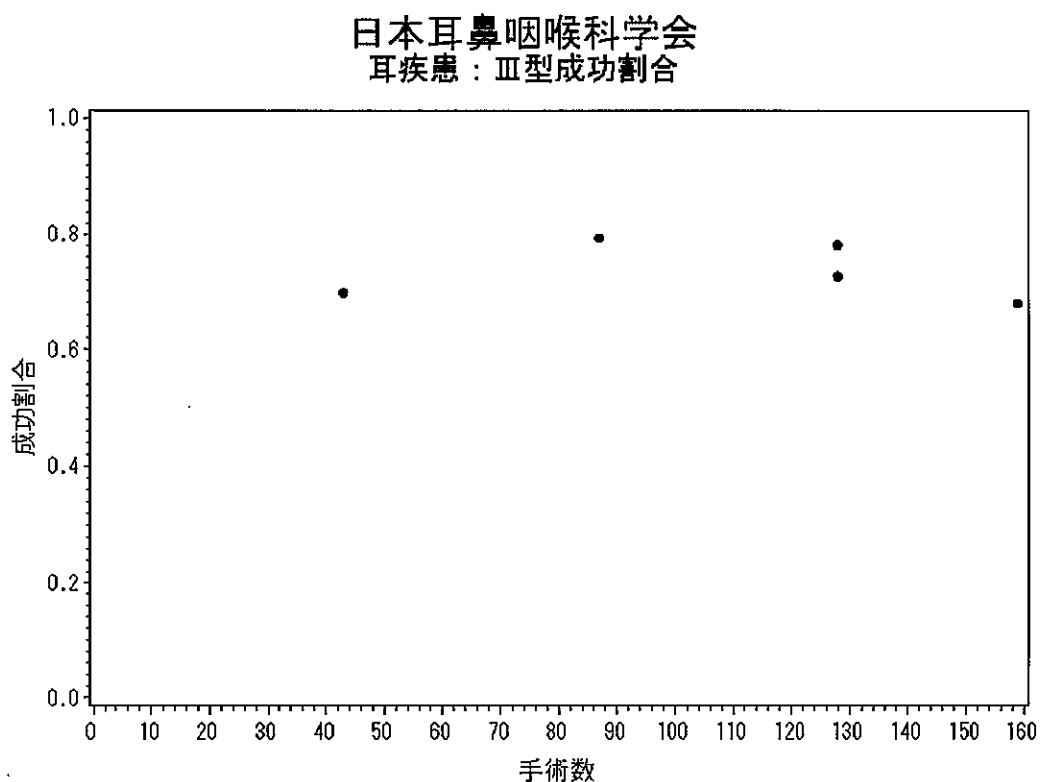
対象施設数が7施設と少ないため、棒グラフでの表現はせず、施設ごとのプロット表示を示す。上の図で●は1施設における成功率を意味する。横軸は各施設の1年あたりの手術件数である。手術件数の増加とともに成功割合が上昇する傾向は認められない。

鼓室形成術(耳疾患):Ⅲ型成功率

基本統計量

- 調査施設数:5
有効回答施設数:5, 手術実施施設数:5
- 総手術件数:545
- 1施設あたりの手術件数
平均値:109, 中央値:128, 最小値・最大値:43-159
- 成功率の平均値:0.74

散布図



対象施設数が5施設と少ないため、棒グラフでの表現はせず、施設ごとのプロット表示を示す。上の図で●は1施設における成功率を意味する。横軸は各施設の1年あたりの手術件数である。手術件数の増加とともに成功割合が上昇する傾向は認められない。